



# CIAM Chronicle vol.10

## 社会基盤メンテナンスエキスパートへの期待

岐阜県県土整備部長  
山本 馨

岐阜県では、県民の皆様の安全な暮らしを確保するため、防災・減災対策、地震対策、さらには社会インフラの老朽化対策など、県民生活を取り巻く様々なリスクに対応した強靱な社会資本整備を進めており、これらにご協力いただいている貴大学をはじめとする関係者の皆様方に感謝申し上げます。ご承知のとおり、膨大なストックを抱える社会インフラの高齢化対策は喫緊の課題であることから、予防保全型の維持管理へと転換し、更には損傷に伴う社会的影響をリスク評価するメンテナンスプランを策定するなど、岐阜県としても戦略的かつ効率的な維持管理の実施に努めているところです。



これらの施策を着実に実施し、後年に亘って県民の皆様の安全・安心な暮らしを守るためには、地域に精通し、維持管理に係る高度な技術力を有する社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）の役割は大変重要であり、欠かせません。

MEについては、岐阜大学、建設産業界、岐阜県が連携し、今までに目標を大きく超える189名が認定されておりますが、今後も増大する社会基盤の高齢化等に対応すべく、岐阜県として引き続きMEの養成支援を行っていくとともに、養成を始めて以来6年が経過し、積極的にMEを活用していく段階に来ていることから、岐阜大学と岐阜県が連携・協力して、積極的にMEの養成・活用を図るため、昨年度に岐阜大学研究推進・社会連携機構社会資本アセットマネジメント技術研究センター長と覚書を締結したところです。

MEの活用については、ME・MS連携モデル事業を試行的に行っているところであり、また、点検から必要な補修工事の実施まで一連の業務についてMEを活用し、補修対策を行う実証実験を始めているところです。その他にも市町村への技術支援や、維持管理の視点から道路設計要領の改訂に取り組んでいるところです。

MEの皆様には、培った技術力を維持・向上させるため、日頃から技術研鑽を心がけて頂き、社会基盤を適切に維持管理し、安全・安心な県土づくりにご活躍頂くことを期待しています。

### Contents

社会基盤メンテナンスエキスパートへの期待	1
MEを日本の人財へ	2
長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター 平成25年度活動状況報告	3
愛媛大学で『社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座』を開講！	5
先行事例の活動報告（ME報告）	6
社会基盤メンテナンスエキスパートの顔ぶれ（第10期）	9
平成25年度活動記録（平成25年2月1日～平成26年1月31日）	10
今後の活動予定	10

# MEを日本の人財へ

CIAM 特定研究員 曾我宣之

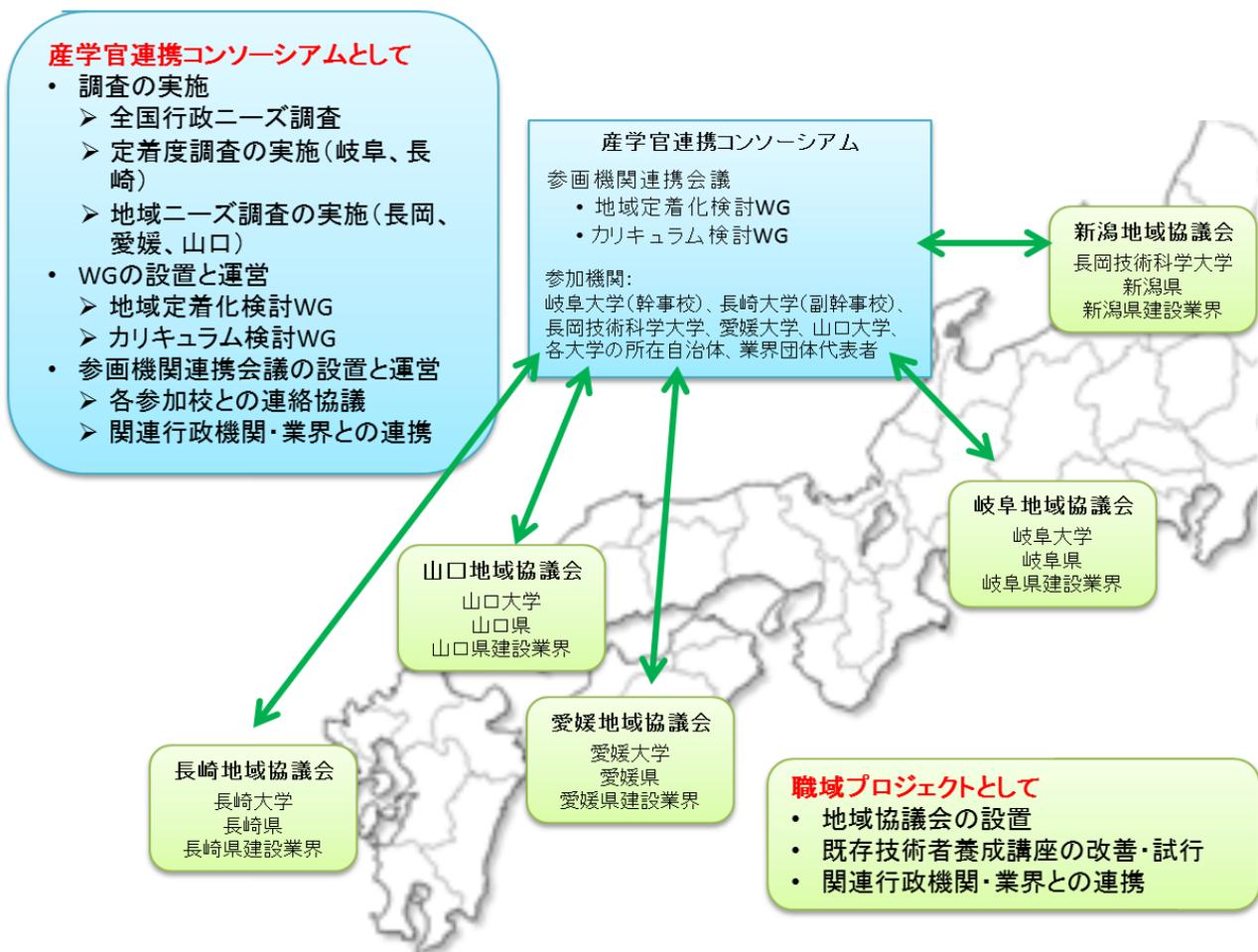
岐阜大学と長崎大学は、他地域と協力して、「社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）」と「道守（みちもり）」育成の実績を基に、産官学協働の人材育成事業を展開します。

岐阜大学は、「文部科学省の成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」において、長崎大学、長岡技術科学大学・愛媛大学・山口大学と協働で、地域に貢献するインフラ再生技術者を育成するプログラムを構築します。具体的には、地域の人材にインフラのメンテナンスに関する実践的な知識・技能・技術などを身につけてもらうための学習システムを構築します。

今年度は、地域のニーズに応えるインフラ再生技術者を育成するためのカリキュラム設計に着手しました。岐阜大学、長崎大学、長岡技術科学大学・愛媛大学・山口大学でコンソーシアムを形成し、それぞれの地域での調査により、どのような技術をもつ技術者が求められているかを明確化します。また、インフラの維持管理技術を有する人財が、地域に定着化するための社会環境等を調査します。それらをもとに、全国共通の課題を解決できるカリキュラムと、それぞれの地域独特の課題に対する適切なカリキュラムを検討しています。この結果を踏まえ、次年度からは、各参画機関でカリキュラムの本格実施、つまりME養成講座を試みます。将来的に、この人材育成事業で育った技術者が、日本のインフラを守る人財となることを目標としています。

## 社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）とは？

高度成長期に整備したインフラが更新の時期を迎えつつある今、公共投資を取巻く環境は年々厳しさを増しています。そのため、地域の建設業界は、疲弊しきった状態にもかかわらず、インフラ整備と管理に携わることで、地域の安全安心な生活基盤を担っています。この状況を変えるため、岐阜大学では、平成20年度から文部科学省の「地域再生人材創出拠点の形成プログラム」の採択を受け、地域再生を担う社会基盤維持管理の総合技術者の育成に着手し、現在189名の社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）を育成し、世に輩出してきました。社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）は、会基盤維持管理の総合技術者です。輩出された人財（ME）は、インフラの維持管理等の問題に取り組みながら、それぞれの地域で活躍をはじめています。



「地域のニーズに応えるインフラ再生技術者を育成するためのカリキュラム設計」コンソーシアムの全体像

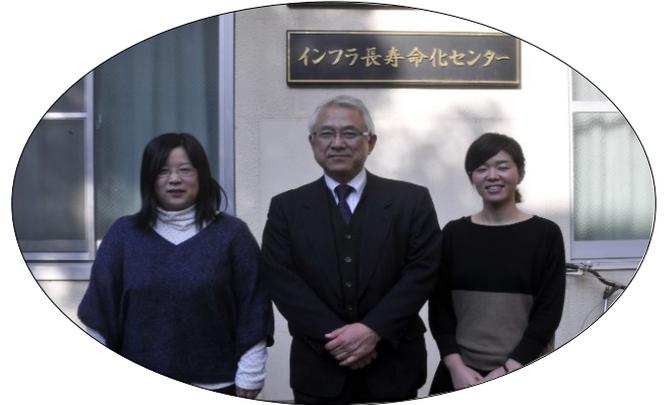
## 長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター 平成25年度活動状況報告

### 長崎大学大学院工学研究科 准教授 森田千尋

インフラ長寿命化センターは、職員8名、客員研究員1名および兼務教員で活動しています。今年度の主な活動内容は表に示す通りですが、その中から、現在岐阜大学を幹事校とし参画している「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」に関する活動を主に報告します。



インフラ長寿命化センターのスタッフ



女性スタッフと松田センター長

#### 道守養成講座の開催

##### ～道守補助員～

一般市民を対象にしたコースで地域の構造物の異常に気づける人を養成するのが目的です。9月に九州電力(株)長崎支社の方を対象に開催しました。長崎県内各地の営業所から26名の方が受講し、午前中は講義、午後からは現場に出向き斜面とトンネルで点検実習を行いました。また、10月には放送大学学生を中心に開催し、受講生からは「道路はどうあるべきか再認識し、これを機に少しでも社会貢献できればいい」などの感想が寄せられました。講師は道守を修了した方々に務めて頂き、平成25年度は現時点で43名の道守補助員が誕生しています。さらに、2月には長崎県央の諫早市で開催予定です。

##### ～道守補～

企業や自治体職員、またそのOBなどを対象に点検作業ができる人を養成することを目的としています。11月から12月にかけて、毎週金曜日に5日間の日程で開催しました。これまで民間企業の方が主な受講者でしたが、各方面からの声により今年度は自治体職員を中心に開催しました。11名が集まり、みなさん熱心に講義や実習に参加されました。特にコンクリート橋や鋼橋の実習では、みなさん積極的に質問していました。業務のなかで知識不足を感じることもあるようで、今回の受講で専門知識を身につけようと大変意欲的だったのが印象的でした。今後さらに特定道守、道守とステップアップし、土木行政の頼もしい存在となることが望まれます。

#### 道路防災・トンネル点検、橋梁概略点検の研修会

8月、9月の2日間、自治体や県OBの方々とともに道守認定者62名が参加し、点検作業の手順や作業内容、点検着眼点、点検結果の記録方法などの研修を受け、午後から現地研修がありました。この研修を受けた道守認定者の方は、長崎県が毎年実施する合



道守補助員講座の講義



道守補講座の現場実習

同点検に参加し、長崎県内のインフラ維持管理の一翼を担います。

**行政ニーズ調査**

12月に4市町、1月に1町にヒアリングを行いました。今回ヒアリングした市町の共通の悩みは、「人材不足と予算不足」に尽きます。中小の地方自治体は団塊世代が多数退職したにも拘らず、人員の補充が財政難のために充分でないため、社会資本再生に関する技術の継承が不十分で、その技術移転が円滑になされていません。そのため技術者を育成することが急務です。しかしながら、担当者が概ね3年周期で異動するので、専門家が育ちにくいことが重大な課題であろうと考えられます。



道守補講座の演習



←橋梁の点検



自治体へのヒアリング⇒

長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター 平成25年度活動内容

月 日	概要
4月	ポータルサイトを用いた道守シート新通報システムの運用開始
4.19	道守シート新通報システム説明会開催(長崎市)
6.22	長崎県道路愛護団体「道守養成ユニット長崎地区」清掃点検活動
7月	道しるべ 第16号発行
8.7~8.8	長崎県内工業高校生インフラ長寿命化体験学習
8.28	長崎県道路維持課主催「道路防災・トンネル点検研修会」
9.13	長崎県道路維持課主催「橋梁概略点検講習会」
9.13	道守養成講座第1回運営協議会
9.19	道守補助員コース開催(対象:九州電力長崎支社職員)
9.20	『特別講演会 道路橋補修・補強技術講演会』開催
9.27	ふくしまインフラ長寿命化研究会で講演
10.5	日本非破壊検査協会で講演
10.19	道守補助員コース開催(対象:放送大学学生及び一般)
10.26	長崎県道路愛護団体「道守養成ユニット長崎地区」清掃点検活動
10月	道しるべ 第17号発行
11.14	ロータリークラブ卓話(日銀長崎支店)
11.22	日本橋梁建設協会で講演
11.22~12.20	道守補コース開催(対象:自治体職員、民間企業)
11.29	KABSE(九州橋梁構造工学研究会)での講演
12.2	道守シート新通報システム説明会開催(壱岐市)
12.5	九州地区技術職員研修で講演
12.25	インフラ維持管理に関する勉強会(東北大学インフラマネジメント研究センター)
1.17	道守補コース認定試験及び面接試験
1.24	道守シート新通報システム説明会開催(新上五島町)
1月	橋梁新聞
1月	道しるべ 第18号発行
2.1	長崎県道路愛護団体「道守養成ユニット長崎地区」清掃点検活動
2.5	道守養成講座第2回運営協議会
2.14	『特別講演会~いかに地方の道を守っていくのか~』開催
2.15	道守補助員コース開催(対象:諫早市民)

# 愛媛大学で『社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座』を開講！

愛媛大学防災情報研究センター 准教授 村岡治道

愛媛大学では、仕事始め翌日の1月7日(火)から3日間にわたって社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座を開講しました。この講座は、災害の多い四国において社会資本の維持管理を行う専門家の養成を目指して開講したものです。今回が初回であることから、試行講座と位置づけて3日間のカリキュラム(右表)で運営し、1日目22名、2日目21名、3日目18名の方々に受講して頂きました。また、3日目午後には「第1回愛媛社会基盤連携協議会」と講演会(参加者：186名)を開催しました。協議会には、行政17名(国交省四国地整、愛媛県、県内市町)と愛媛県内の民間団体7名の出席の下、本講座の趣旨、目的、内容を説明して、本講座への理解と協力・賛同を得ることができました。開講・運営に際しては、岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センターの全面的な御協力と、愛媛県土木部田村部長ならびに溝口技術監を筆頭に組織を挙げた全面的な御支援により、無事終えることができました。紙面を借りて御礼申し上げます。試行講座受講者からは表2に示すようなコメントを頂戴しており、本講座の有効性を講座運営者としても再認識すると共に、今年秋頃に予定している本講座開講に向けて準備を進めたいと考えております。関係者の皆様、ありがとうございました。

試行講座のカリキュラム

日付	時限目	内容
1.7	1	ガイダンス(30分)+地盤構造物の維持管理(60分)
	2	地盤構造物の維持管理(演習)
	3	アセットマネジメント概論「ストックマネジメントの取り組み」
	4	アセットマネジメント概論「河川構造物の維持管理」
	5	本日のとりまとめ
1.8	1	橋梁の維持管理(補修補強)
	2	橋梁の維持管理
	3	ライフサイクルコスト演習
	4	
	5	アセットマネジメント概論演習
1.9	1	フィールドワーク「(主)松山伊予線 中川原橋」
	2	
	3	フィールドワークのとりまとめと発表
	4	講演会(次表参照)
	5	講演会(次表参照)

講演会の内容

時間	内容
14:30~14:35	開会挨拶 愛媛大学防災情報研究センター長 矢田部龍一
14:35~15:05	「社会インフラ管理におけるデータベースの役割」 国土交通省国土技術政策総合研究所 河川研究部長 鳥居謙一
15:05~15:35	「社会基盤の現状と今後の取り組み」 国土交通省四国地方整備局企画部長 石井一生
15:35~16:05	「愛媛県の社会基盤の現状と今後の取り組み」 愛媛県土木部長 田村弘文
16:05~16:15	休憩
16:15~16:45	「岐阜大学のME養成講座について」 岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センター室長 小林孝一
16:45~17:10	「愛媛と四国のインフラを守る人材育成講座について」 愛媛大学工学部環境建設工学科長 吉井稔雄



←フィールドワークの様子



座学(演習)の → 様子

試行講座の様子

## 愛媛大学社会基盤メンテナンスエキスパート試行講座 受講者のコメント

## 座学・座談会（1日目、2日目に実施）に対するコメント

- 年齢、立場、職場の違う人の意見を聞くことができ、凄くためになった。（市職員）
- 目視点検でかなり分かるが、そのためには橋の構造・材料などの知識を踏まえて劣化診断できる能力が必要と認識させられた。（市職員）
- 同じ問題に向き合っている技術者のみなさんと座談会を通じて交流できたことは、ネットワーク構築の切っ掛けになった。（市職員）

## フィールドワーク（3日目に実施）に対するコメント

- 複数人数で現場を確認することの重要性や現場写真の撮影方法など、学ぶことが多かった（市職員）
- 座学よりフィールドワークの方が実際に目で見て、触って、さらには他人の意見も聞くことができたので、非常にためになった。（市職員）
- 自治体の皆さんも着目点を持って点検に臨んでいらっしゃる方が多数いらっしゃることを確認できた（整備局職員）
- 現場に向き“プロ”に説明して頂いたのが凄く良かった。（町職員）
- （フィールドワークの）現場へ行ったことはあったのですが、本日は複数人数で現場を見ることにより、点検や着目点が変わることが改めて分かりました。（コンサルタント）

## 全体に対するコメント

- 愛媛のインフラを守るためにはMEは必要でしょう！（市職員）

## 先行事例の活動報告（岐阜ME報告）

MEの会 会長 岡山登志高(ME132号)

前年度で「文部科学省科学技術戦略推進費（地域再生人材創出拠点の形成プログラム）」の支援が終わり、今年度より岐阜大学大学院の履修証明プログラムとして実施され、ME認定者は、昨年（2013年）11月15日に平成25年度後期認定合格者15名が加わり総勢185名となりました。10期生認定式及び懇親会に出席させて頂きましたが、10期生の方もすごく活気ある方達ばかりで、今後の活動が楽しみです。ME制度設立から6年が過ぎようとしていますが、徐々に活動が活発化し、各地域部会で競い合うように部会活動が開催されています。本年度は、仕事量が多く大変忙しいにも関わらず、みなさまのご協力によりMEの会及び地域部会等の活動が活発化し、誠に感謝致します。この場を借りてお礼申し上げます。今後も、ME活動へのご協力よろしくお願い致します。

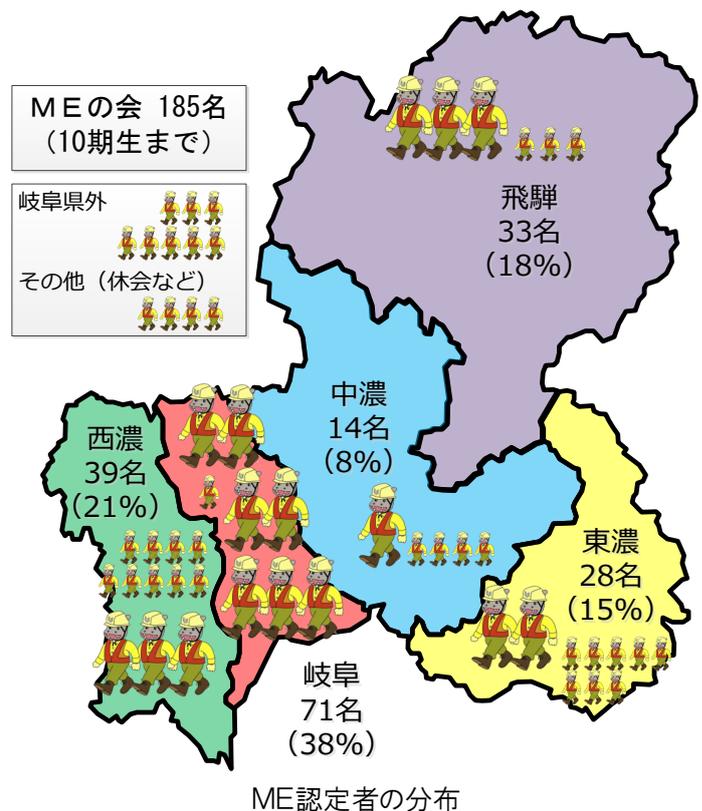
## 【皆さまへ伝えたいこと】

ME活動も最終的には、各個人に委ねられます。そこで自論ではありますが、MEとしての心構えを4つ挙げさせて頂きたいと思います。

- ① **チャレンジ精神**
- ② **あきらめない**
- ③ **技術者としてのプライド（誇り）を持つ**
- ④ **人とのつながり（仲間）を大切にする**

まず、①についてですが、色々なことにチャレンジする気持ちを持ってME同士または会社内の社員同士で切磋琢磨して頂くと思っています。②については、チャレンジすると挫折や辛いことがあります、めげず・あきらめず

に前に進んで欲しいです。③については、土木技術者として誇りを持ち、次世代の子供達が土木技術者・MEを目指したいと思うくらいになると最高だと思いますし、それを目指したいと思います。④については、①～③を実現するためや現状の業務を達成するためにも、同じ志を持つ仲間・それを手助けしてくれる人との繋がりを大切にして頂きたいと思っています。この4つを信念にME活動や日常業務を遂行して頂ければ、建設業が魅力ある仕事になると信じています。または、人が物を造るということも忘れないで欲しいです。当たり前のことですが、造る人が良い物を造ろうと心掛ければ、良い物ができます。良い物造りが出来る環境を整えて行きましょう！！勝手に言いましたが、ME活動が活発化するように微力ですが、精一杯頑張りますので、今後



ともよろしくお願い致します。それでは、今年度のME活動について、ご紹介したいと思います。

#### 【講師活動】

講師活動としては、前年度から引き続いて橋梁保全講習会(市町村職員向け)が中津川市・大野町にて開催されました。これに加え、今年度は「DIG演習」及び「道路ストック総点検に関する研修(県外)」が開催されました。

まず、DIG演習ですが自分は、北小学校のDIG演習に参加させて頂きましたのでそこでの内容を報告します。初めに職員の方に演習を行い、その後生徒の皆さんと演習を行いました。生徒の皆さんが一生懸命に考え、また楽しそうにしている姿を見て感銘を受けました。また子供ならではの発想もあり刺激を受けました。DIG演習を通じ、身近にある危険を知ることによって実際にその場に立った時に被災するリスクを減らすことができると思います。また子供達が危険を知り、家族と話すことで避難経路などを共有し、さらに被災するリスクが低減します。このDIG演習が学校の授業の一環として定着すると素晴らしいと思います。

次に県外への講師派遣についてですが、「道路ストック総点検に関する研修」で四日市市の研修に参加いたしました。質疑応答では、「点検後の修繕計画をどのようにしていったらよいのか?」という内容の質問がありました。点検した結果にどのように優先順序をつけたらよいのか、どこまで修繕すればよいのかという所の判断が難しいのだと知りました。講師という経験をして色々な事が学べました。他のMEの方にも積極的に講師活動に参加して頂き、いっぱい刺激を受けて頂きたいと思ひます。

#### 【講演活動】

橋梁保全・長寿命化シンポジウム2013では、重永大介氏(ME139号)が「維持管理における市町村の現状について」発表し、「my橋運動」を題材にして管理者が道路施設にもっと関心を持ち、愛着を持って道路施設を管理していくことが大切であると伝えました。

建設トップランナーフォーラム「インフラの町医者をめざして」では、加藤十良氏(ME6号)が「ME制度や活動内容について」発表し、MEがインフラの町医者を担っていること、ME制度により維持管理に精通した人材を育成し、町医者を増やすことできめ細かい維持管理ができることを伝えました。両者とも非常にわかりやすい講演で大変好評でした。

講演活動を通じて、県外にMEをアピールし、MEの重要性及び必要性を訴えています。その都度ME制度は高く評価されていますので、いずれ全国でMEが活躍する日がくると思ひます。そうなった際に、見本となるMEとなれるよう日々努力していきたいと思ひます。



DIG実施の様子(北小学校)



シンポジウム2013in名古屋(重永氏ME139号)



MEの会 通常総会

### 【フォローアップ研修】

色々な所からお声を掛けて頂き、各地で見学会が開催されています。見学会では、最新技術・工法を目で見るができる貴重な場です。MEとして日々努力していくためにも見学会等のフォローアップ研修に参加し見識を深めていきたいと思えます。

### 【MSとの交流】

道路施設の維持管理を行う上で、MS（メンテナンスサポーター）の存在は非常に重要です。MSとの連携により緊急時の対応にも寄与することができますので、MSフォローアップ研修並びに委嘱式での交流が非常に重要になります。交流を深め、MEが身近な存在となり、MEの存在を住民の方が知って頂けるようにしていきたいと思えます。

### 【地域部会活動】

活発化する地域部会活動では、各部会で技術力アップのための研修や点検等が開催されています。地域部会活動を通じて、ME同士の交流やまた講師を招く場合には講師の方との繋がりができるなど、人的ネットワークを強化することができます。ME活動は個人の自己研鑽も重要ですが、やはり専門外の部分を補うための人脈も重要です。地域部会活動が活発化することでME全体が活性化し、個人だけでは微力かもしれませんが、組織となった場合に絶大な力が発揮できると思っています。飛騨地域部会では、橋梁保全技術について普段聞けない質問・疑問をぶつけ合うことで、価値観を共有できればと思い、意見交換会を開催しました。MEでしかできないことがたくさんあります。

MEを存分に活用し、自分たちの業務にフィードバックすることで、受注した工事の品質向上にも繋がり、インフラの品質が向上します。ME活動が色々な相乗効果を生み出せるよう活発的に活動していきます。



「橋梁保全技術について」地域部会研修 in 飛騨

### MEの会 平成25年度活動内容

日付	内容	日付	内容
4. 19	MEの会総会・東京ファブリック加工工場見学	10. 5	東海工業専門学校高山支部校友会講演
5. 20	市町村職員橋梁保全講習講師（中部地整）	10. 23	MSフォローアップ研修講師（可茂土木）
5. 23	フォローアップ研修 （白山公園線（県道451号）開通前現場見学）	10. 31	MSフォローアップ研修講師（下呂土木）
6. 8	DIG講習会講師（岐阜市立合渡小学校職員対象）	10. 31	MSフォローアップ研修講師（美濃土木）
6. 21	フォローアップ研修 （スケルカー現場見学会）	10. 31	体験型授業「地震にあったら・・・」講師 （高山市立岩田小学校）
6. 27	DIG講習会講師 （岐阜市立合渡小学校小学6年生対象）	11. 01	道路ストック総点検研修講師（四日市市）
6. 27	澄ヶ瀬1号陸間施設点検（東濃地域部会）	11. 13	道路管理研修講師（中部地方整備局）
7. 2	建設トップランナーフォーラム講演	11. 20	市町村職員橋梁保全講習講師（大野町）
7. 12	第2回東海コンクリート診断士会・MEの会 合同研修会	11. 21	道路ストック総点検研修講師（伊勢市）
7. 12	橋梁補修に関する産官学合同意見交換会 （飛騨地域部会）	12. 10	フォローアップ研修（非破壊診断技術（弾性波）現場見学）
7. 18	耐候性橋梁の長寿命化意見交換会（不動橋）	12. 13	フォローアップ研修 （ひび割れ低圧注入工法（IPHシステム）現場見学）
7. 31	フォローアップ研修 （国道21号境川橋補強工事（回転杭）現場見学）	12. 20	フォローアップ研修 （ひび割れ低圧注入工法（IPHシステム）現場見学）
8. 26	フォローアップ研修 （ウォールプロテクト工法 現場見学）	1. 22	道路ストック総点検研修講師（鈴鹿市）
8. 28	橋梁保全・長寿命化シンポジウム2013講演	1. 24	山口大学 MEについて講演
9. 7	15m以下の橋梁簡易点検（岐阜地域部会）	1. 31	道路ストック総点検に関する勉強会（中濃地域部会）
9. 30	DIG講習会講師（高山市立北小学校職員対象）	2. 18	道路ストック総点検研修講師（津市）
10. 4	DIG講習会講師 （高山市立北小学校小学6年生対象）		

## 社会基盤メンテナンスエキスパートの顔ぶれ（第10期）



【ME171号】原 智幸  
所属：日産工業  
勤務エリア（地域）：飛騨  
得意分野：舗装



【ME172号】松田雅嗣  
所属：曙開発  
勤務エリア（地域）：飛騨  
得意分野：土構造物・池・山



【ME173号】青山裕志  
所属：中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋  
勤務エリア（地域）：岐阜  
得意分野：道路維持管理



【ME174号】安藤賢樹  
所属：西濃建設  
勤務エリア（地域）：西濃  
得意分野：コンクリート構造物



【ME175号】遠藤智志  
所属：岐阜土木事務所  
勤務エリア（地域）：岐阜  
得意分野：道路建設



【ME176号】遠藤哲郎  
所属：メイホーエンジニアリング  
勤務エリア（地域）：西濃  
得意分野：河川



【ME177号】大野 明  
所属：中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋  
勤務エリア（地域）：東濃  
得意分野：道路維持



【ME178号】大橋明夫  
所属：岐阜県建設研究センター  
勤務エリア（地域）：岐阜  
得意分野：下水



【ME179号】加藤政義  
所属：興栄コンサルタント  
勤務エリア（地域）：岐阜  
得意分野：橋梁



【ME180号】小林哲貴  
所属：瑞浪市役所  
勤務エリア（地域）：東濃  
得意分野：道路



【ME181号】佐竹隆行  
所属：県土整備部  
勤務エリア（地域）：岐阜  
得意分野：道路



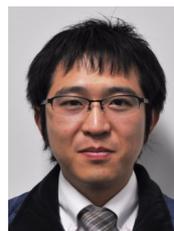
【ME182号】佐藤士朗  
所属：アンドー  
勤務エリア（地域）：長野  
得意分野：下水道・農業土木



【ME183号】澤野量彦  
所属：大垣市  
勤務エリア（地域）：西濃  
得意分野：道路管理



【ME184号】寺田 孝  
所属：県土整備部  
勤務エリア（地域）：飛騨  
得意分野：道路



【ME185号】畑佐陽祐  
所属：興栄コンサルタント  
勤務エリア（地域）：岐阜  
得意分野：道路



【ME186号】平出敏則  
所属：東濃技研  
勤務エリア（地域）：東濃  
得意分野：道路・河川



【ME187号】目黒達矢  
所属：岐建  
勤務エリア（地域）：西濃  
得意分野：コンクリート構造物



【ME188号】谷藤 剛  
所属：美濃土木事務所  
勤務エリア（地域）：岐阜  
得意分野：道路・舗装



【ME189号】八藤後友也  
所属：岡三リビング  
勤務エリア（地域）：東京  
得意分野：コンクリート構造物

## 平成25年度活動記録（平成25年2月1日～平成26年1月31日）

月 日	概要
H25. 2. 1	岐阜社会基盤研究所研究発表会にて平成24年度ME活動報告
H25. 3. 3	「東海圏減災研究コンソーシアムに関する協定書」締結
H25. 3. 26	国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所と「調査・研究及び管理における連携協力の推進に関する協定書」更新
H25. 3. 26	国土交通省中部地方整備局岐阜県内7事務所などと「連携協力に関する協定書」締結
H25. 3. 28	国土交通省中部地方整備局中部技術事務所と「連携協力に関する細目協定書」更新
H25. 5. 27	岐阜県県土整備部と「連携協力に関する覚書」締結
H25. 6. 7	北海道道路研究委員会講演会にて講演
H25. 8. 23～9. 20	平成25年度後期社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座 実施
H25. 10. 21	中核的人材事業参画機関連携会議(岐阜)
H25. 10. 24～25	国土交通省中部地方整備局中部技術事務所主催 「建設技術フェア2013」出展
H25. 10. 24～25	第22回プレレストコンクリートの発展に関するシンポジウム 技術展示(静岡市内)
H25. 10. 28	国土交通省中部地方整備局道路部と「道路維持管理の連携協力に関する細目協定書」締結
H25. 11. 1	下呂市主催「道路アクセスを考えるシンポジウム」講演および後援
H25. 11. 8	ハイウェイテクノフェア 出展
H25. 11. 15	平成25年度後期社会基盤メンテナンスエキスパート認定証授与式
H25. 12. 21	中核的人材事業「第一回 地域定着化検討WG・カリキュラムWG 合同WG」開催
H26. 1. 7～1. 9	愛媛大学試行講座にて講義。同時開催されたシンポジウムにて講演および協力
H25. 1. 24	山口大学講演会にて講演および協力

## 今後の活動予定

月 日	概要
H25. 2. 10	中核的人材事業「第2回 カリキュラムWG」開催
H25. 2. 18	長岡技術科学大学講演会にて講演および協力
H26. 2. 26	「地域ニーズに応えるインフラ再生技術者の育成」シンポジウム 「インフラの町医者が守るみんなの暮らし」開催
H26. 2. 26	中核的人材事業「第2回地域定着化検討WG・第3回カリキュラムWG 合同WG」開催
H26. 2. 27	中核的人材事業連携会議(岐阜)開催
H26. 3. 17～4. 4	平成26年度前期社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座 受講生募集
H26. 6. 2～6. 27	平成26年度前期社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座 実施

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センター (<http://www1.gifu-u.ac.jp/~ciam/>)  
Tel. & Fax.:058-293-2419 E-mail: [ciam-secretary@gifu-u.ac.jp](mailto:ciam-secretary@gifu-u.ac.jp)